

事業実施主体名:五箇荘金堂地域歴史的資源活用まちづくり推進協議会

令和6年8月20日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業)	取組概要(整備事業)
滋賀県 東近江市	令和元年度	国の「重要伝統的建造物群保存地区」等の歴史的資源を活用した観光まちづくりをワークショップ等により理解醸成を図る。観光客の滞在時間延長のため、体験コンテンツ作りマーケティング活動及びプロモーションに向けた素材収集等を実施。	国の「重要伝統的建造物群保存地区」にある「近江商人屋敷」を地域の農泊中核施設として、分散型ホテルのフロント、客室、レストランの機能を整備。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、工事等が遅れていた一棟貸しの宿泊施設「外村宇兵衛邸」が令和4年9月1日に開業した。重点指導により、開業に併せてメディアを中心とした報発信等の広告宣伝活動、ターゲットの絞り込み及び地域の特性を活かした体験コンテンツの造成に取り組んだ結果、宿泊者数は回復傾向にあるが、売上高に結びついていないのが課題。これは、宿泊施設の利用者が、地域内での体験、飲食を利用する場が少ないためと考えられる。このため、地域協議会と地域の連携を強化する取り組みが必要である。なお、東近江ちいさなたびいちコンテンツは好評であったことから、本コンテンツを生かして、売上につなげるような取り組みを増やすことが必要ではないか。

令和5年6月に新たな宿泊棟(離れ)が開業したことから、宿泊施設の利用者は増加すると予測されるため、地域内での体験、飲食利用が推進されるよう地域内での連携を強化する必要がある。引き続き指導するべき。

(指導・助言等)

目標のうち「売上金額」が低調となった問題点について分析を行い、その上で必要な改善策を講じ、令和5年度の取組を推進されたい。
その際、宿泊者の地域の体験、飲食利用を促進させるため、地域における農泊の取組への理解促進、利用ニーズの把握、導線検討、体験・飲食メニューのブラッシュアップ及びターゲットを絞った情報発信等を検討されたい。

2. 低調と評価された要因

売上高(24%)は目標が達成できず、低調な実績となった。
これは、宿泊者数は回復傾向(62%)にあるが、宿泊施設の利用者が地域内で体験、飲食を利用する場が少なかったためと考えられる。

3. 目標達成に向けた方策

新たな宿泊所(離れ)の開業(令和5年6月)に併せて、インフルエンサーによる広報周知、造成済みの地域の特性を活かした体験コンテンツの活用、宿泊施設での夕食、朝食のサービス提供等に取り組む。

4. 改善状況

令和5年度は、延べ宿泊者数(108%)は目標を達成したが、売上高(54%)は目標を達成できなかった。
延べ宿泊者数の増加が売上高に結び付いていないのは、宿泊施設の利用者が地域で体験、飲食を利用する場、機会が、少ないためと考えられる。
引き続き、地域住民との合意形成や理解度の醸成を図るとともに、「三方よし」の精神を学ぶ宿泊型研修施設としての販売促進等の取組が必要と考えられる。

事業実施主体名:びわ湖の素米原古民家暮らし協議会

令和6年8月20日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業・人材活用事業)	取組概要(整備事業)
滋賀県 米原市	令和元年度	日本そば発祥の地を活かし、地域で受け継がれている個々の農家に伝わる味を東草野「家そば」として提供するため、研修会及び地元農産物を使用した料理メニューを開発、体験プログラムの造成、集落を訪れる人達を受け入れるための研修等を実施。 専門家の協力を得て、農泊の取組推進の中核となる人づくりを実施。	地域内の古民家を改修して、地域の農泊の取組を進めるための宿泊施設として整備し、地域内にある空き家の活用に結びつける。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

<p>(評価コメント)</p> <p>令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響が強く残る中、宿泊者数、体験数は前年度に比べ大きく増加したものの、売上につながらなかった。これは、コロナ禍での外出制限であったり、大規模イベントの開催が見送られたこと等により、地域内の売上げが低調となったためである。このため宿泊施設内での過ごし方の提案や、少人数での体験コンテンツの提供等売上げの増加につながるよう、地域協議会と地域が連携して取り組むよう、引き続き指導するべき。</p> <p>(指導・助言等)</p> <p>目標の「売上高」、「延べ宿泊者数」が低調となった問題点について分析を行い、その上で必要な改善策を講じ、令和5年度の取組を推進されたい。 その際、宿泊者の地域での体験、飲食利用を促進させるため、地域における農泊の取組への理解促進、利用ニーズの把握、体験・飲食メニューのブラッシュアップおよびターゲットを絞った情報発信等を検討されたい。</p>
--

2. 低調と評価された要因

<p>売上高(12%)、延べ宿泊者数(43%)ともに目標が達成できず、非常に低調な実績となった。 これは、コロナ禍での外出制限であったり、大規模イベントの開催が見送られたこと等により、地域内の宿泊者や体験、飲食の売上げが伸びなかったと考えられる。</p>

3. 目標達成に向けた方策

<p>地域と連携し、体験プログラムの見直し、開発を行うとともに、宿泊者への新たな食事メニューの提供等に取り組む。</p>
--

4. 改善状況

<p>令和5年度は、売上高(53%)、延べ宿泊者数(53%)ともに向上したが、目標の達成には至らなかった。 売上高、宿泊者数を増加させるため、既存の景観等を活用した体験メニューの開発や宿泊者への食事提供に工夫が必要である。また、インバウンドの呼び込みに向けて、インバウンドに強い旅行会社との連携、「そよも」の屋号に係るストーリーの展開やSNS等による情報発信等が必要と考えられる。</p>
--

事業実施主体名:丹生の里暮らし協議会

令和6年8月20日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業・人材活用事業)	取組概要(整備事業)
滋賀県 長浜市	令和2年度	地域で受け継がれている郷土料理を来訪者へ提供するための研修会、地元特産物を使用した食事メニューの開発、体験メニューの造成、地域を訪れる人達を受け入れるためのオペレーション等の研修会及び情報発信等を実施。 専門家の協力を得て、農泊の取組推進の中核となる人づくりを実施。	地域内の築150年程の茅葺の古民家を改修して、地域の農泊の取組を進めるための宿泊施設として整備し、様々な体験メニューの拠点としても活かしていく。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、工事等が遅れていた宿泊施設「古民家宿 TOKI NO YADO」が令和4年7月に実質的な開業となったことにより、宿泊者数は目標を達成できたものの、地域内の売り上げは低調となった。これは、宿泊はするが、コロナ禍の影響により、食事の提供や体験メニューの実施につながらなかったためである。このため、非接触型の食事や、少人数での体験メニューの充実を図ることが必要である。
現在、これらの課題解決に向けて、地域と連携した食事メニューの開発や、体験コンテンツの充実に取り組んでいるところであり、引き続き指導するべき。

(指導・助言等)

目標の「売上高」が低調となった問題点について分析を行い、その上で必要な改善策を講じ、令和5年度の取組を推進されたい。
その際、宿泊者の地域内での体験、飲食利用を促進させるため、地域における農泊の取組への理解促進、利用ニーズの把握、導線検討、体験・メニューのブラッシュアップ及びターゲットを絞った情報発信等を検討されたい。

2. 低調と評価された要因

目標のうち、売上高において目標が達成できず(ソフト:35%、ハード:41%)、低調な実績となった。
これは、コロナ禍の影響により、食事の提供や体験メニューの実施につながらなかったことが原因である。

3. 目標達成に向けた方策

地域と連携して宿泊運営、体験メニューの見直し、実施等を検討、地域の畑での野菜の収穫体験やその食材を利用した食事の提供等に取り組む。

4. 改善状況

令和5年度は、延べ宿泊者数(ソフト:181%、ハード:181%)は目標に達したが、売上高(ソフト:53%、ハード:61.9%)と目標達成には至らなかった。
これは、体験メニュー、食事メニューの提供が人手不足のため十分に行うことができなかったためと考えられる。
人手不足により体験メニュー、食事メニューの提供が十分に行うことができなかったことを踏まえ、実施体制の見直しが必要と考えられる。
また、宿泊者数は目標を達成しているが、売上高に反映されていないことを踏まえ、売上を確保するために料金の見直しの検討が必要と考えられる。

事業実施主体名: 曾爾村農山村交流促進協議会

令和6年8月20日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊地域高度化促進事業)
奈良県 曾爾村	令和3年度	ポストコロナのインバウンド需要を見据え、Wi-Fi環境の整備、外国語対応のパンフレットやHP作成、ベジタリアン等外国人対応料理の開発、インバウンド向け体験プログラムの造成等を行いインバウンドに対応するための取組を実施。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

令和4年度においては、計画された取組の外国語対応HP作成、ベジタリアン等外国人対応料理の開発、旅行商品の開発・販売・商談活動等等、すべての取組が実施され、事業実施体制は中核法人を中心として、構成員が計画で定めた各自の役割を果たしており、十分に整備されている。

しかしながら、目標について、「訪日外国人売上高」26%、「延べ訪日外国人宿泊者数」53%と、新型コロナウイルス感染症による渡航制限などの影響で、山間部である本地域における訪日外国人の訪問が少なかったこともあるが、目標の達成状況は低調である。

新型コロナウイルス感染症による渡航制限の影響もあり、目標の達成状況が低調となったが、地域のインバウンド受け入れ体制は構築されているため、今後は、更なるインバウンドの対応強化にあたり、インバウンドに体験メニューのブラッシュアップ、PR活動及び地域の意識向上等、引き続き、目標達成に向け、持続的な活動を継続していくことが必要である。

(指導・助言等)

目標の「訪日外国人売上高」、「延べ訪日外国人宿泊者数」が低調となった問題点について分析を行い、その上で必要な改善策を講じ、令和5年度の取組を推進されたい。その際、更なるインバウンドの対応強化にあたり、インバウンドに体験メニューのブラッシュアップ、PR活動及び地域の意識向上を検討されたい。

2. 低調と評価された要因

新型コロナウイルス感染症による渡航制限などの影響で、山間部である本地域における訪日外国人の訪問が少なかったこともあり、目標を達成しなかった。

目標のうち、売上高において目標が達成できず(26.9%)、低調な実績となった。

これは、新型コロナウイルス感染症による渡航制限などの影響で、山間部である本地域への訪日外国人の訪問が少なかったためと考えられる。

3. 目標達成に向けた方策

旅行博や商談会への積極的な参加、英語対応の強化、外国人対応料理のブラッシュアップ、ベジタリアン対応等に取り組む。

4. 改善状況

令和5年度においては、訪日外国人売上高(84%)、訪日外国人宿泊者数(154%)とおおむね目標を達成している。

また、実施体制は、計画で定めた体制が整備されるとともに、英語対応が可能な構成員を確保するなど、インバウンド対策の強化が図られている。

このことから、総合的にみて成果が上がっており、改善が図られているため、今後の指導は必要ないと考えられる。

事業実施主体名:社会福祉法人和歌山県福祉事業団

令和6年8月20日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農福連携支援事業)	取組概要(整備事業)
和歌山県 西牟婁郡 上富田町	令和2年度	障害者の「職業の確保」「所得の向上」に繋げるため、わさびと水菜の生産・加工・販売に係る研修を実施する。また、福祉事業から農業への参入を促進させ、地域の活性化を図る。	わさびと水菜の水耕栽培施設の整備により、年間を通して計画的な農作物の栽培が可能とする。また、トイレ等附帯施設の整備により労働環境を整備する。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価委員会での評価コメント)

令和4年度は、農業生産技術向上等の研修は予定通り2回実施されたが、新型コロナウイルス感染症の影響により農作業等が少人数での参加となるなど、法人の方針等としてイベントへの参加等外部との交流の機会が減少したため、事業実績が低調な数値となっている。

令和5年度は、これまでの研修で得た知見を活かし、地域の農業者や飲食店など連携事業者との交流により、事業の数値目標が達成されるよう指導を行うべき。

(目標達成に向けた指導・助言等)

「障害者の雇用又は就労者数」について、障害者個々の能力や特性にあわせた生産、加工、販売等各作業の工程を検討し、事業最終年度(令和4年度)の目標である14人が確実に達成できるよう引き続き事業をすすめられたい。

また、交流イベントなどに可能な限り積極的に参加して、「交流人口」「売り上げ」の増加に努められたい。

2. 低調と評価された要因

新型コロナウイルス感染症の影響により農作業等が少人数での参加となるなど、法人の方針等としてイベントへの参加等外部との交流の機会が減少したため事業実績が低調となった。

3. 目標達成に向けた方策

- ・農業生産技術向上等の研修の実施
- ・わさびと水菜の本格的な収穫、販売活動の実施
- ・交流イベントなどの増加による交流人口、売り上げの拡大

4. 改善状況

令和5年度は、わさびの収穫・販売が始まり、野菜の計画的栽培や販売方法が確立されたことから、障害者等の雇用又は就労者数は、達成率50%を超え令和4年度(40%)に比べ改善がみられる。売上高は達成率50%には届かないが、令和4年度(2%)に比べ改善がみられる。またイベント販売等の地域交流の機会の増加から、交流人口においては令和4年度(0%)に比べ大きく改善がみられる。

【令和5年度の目標値と実績】

- 障害者等の雇用又は就労者数:目標値14人 実績値8.1人 達成度(57%)
- 売上高:目標値1,192千円 実績値486千円 達成度(40%)
- 交流人口:目標値1,210人 実績値1,061人 達成度(81%)